

次号予告

63 巻 5 号/2012 年 10 月刊

増大特集 細胞の分子構造と機能—核以外の細胞小器官

1. リボソーム

リボソーム RNA の改変によるリボソーム構築原理の探求……………鈴木 勉
リボソームに翻訳以外の機能がある—リボスクレアーゼ作用阻害……………宮崎 健太郎
リボソーム RNA 合成制御を介した細胞機能調節機構……………村山 明子
真核細胞におけるリボソーム生成過程……………早野 俊哉
リボソームタンパク質の翻訳制御……………剣持 直哉
抗リボソーム P 抗体の利用……………河端 正樹・他

2. 小胞体

シグナル仮説の現在……………濡木 理
糖タンパク質の小胞体関連分解経路……………潮田 亮
筋小胞体 Ca 放出機構の最近の進歩……………呉林 なごみ
小胞体ストレスおよび小胞体ストレス応答とは何か……………森 和俊
小胞体ストレスと骨格発達……………村上 智彦
小胞体ストレスと加齢性疾患におけるメタロチオネインの関与……………佐藤 政男・他
小胞体ストレスとアポトーシス……………後藤 知己・他
小胞体ストレスと心血管炎症……………古橋 真人
小胞体ストレスの可視化……………岩脇 隆夫
小胞体ストレスと循環器疾患……………小亀 浩市・他

3. ゴルジ体

p97ATPase 膜融合機構におけるゴルジ体・小胞体の形成維持……………中野 優・他
ゴルジ装置の微細形態……………牛木 辰男・他
ゴルジ体の膜交通……………黒川 量雄・他
哺乳動物細胞ゴルジ体の細胞周期依存的ディスアセンブリー……………加納 ふみ・他
ゴルジ装置に局在するプロセシング酵素とその役割……………中村 暢宏
トランスゴルジネットワークに局在する SNARE の役割……………植村 知博・他
ゴルジ体における有芯小胞の生成と CAPS タンパク質の役割……………定方 哲史・他
ALS におけるゴルジ装置の断片化と TDP-43……………藤田 行雄・他
フコシル化の機序とがんにおけるその異常……………傍嶋 智明・他
骨軟部肉腫におけるゴルジ装置タンパク GOLPH3 と GOLPH3L の発現上昇と細胞増殖への関与……………瀬戸口 啓夫・他
酸性オルガネラの pH ホメオスタシスとアニオンチャネル GPHR……………前田 裕輔
新しい機能を問われ出した小胞体-ゴルジ体中間区画……………菅原 太一・他

膜小胞輸送にかかわる ADP リボシル化因子 1 の新規阻害剤 AMF-26 によるゴルジ装置の破壊と抗がん作用……………大橋 愛美・他

4. ミトコンドリア

ミトコンドリアの融合と分裂……………尾上 健太・他
ミトコンドリア膜の機能的な新タンパク質類—プロヒビチン……………遠藤 仁司・他
ミトコンドリア DNA の個人差……………田中 雅嗣
動物におけるミトコンドリア DNA の母性遺伝の分子機構……………佐藤 健・他
ミトコンドリア鉄トランスポーター……………堤 伸浩
パーキンソン病の発症機構とミトコンドリア……………松田 憲之・他
高齢者とミトコンドリア……………田中 雅嗣
ミトコンドリア病の解明……………後藤 雄一
ミトコンドリア病の治療……………古賀 靖敏

5. ベルオキシソーム

ベルオキシソームの形成とその障害……………藤木 幸夫
ベルオキシソーム膜タンパク質……………加藤 博章
GPI アンカーのリモデリングにおけるベルオキシソームの役割とその異常……………神澤 範行・他
肝臓のベルオキシソーム分解……………上野 隆・他
Zellweger 症候群のショウジョウバエモデルが明らかにするベルオキシソームの新たな役割……………中山 実・他
ベルオキシソーム膜タンパク質 Pex3p とサイトソルタンパク Pex19p からの複合体の三次元構造……………加藤 博章
ベルオキシソームのタンパク質輸込における Pex7p の役割……………藤木 幸夫

6. ファゴソーム

オートファジーの制御機構と生理機能……………森下 英晃・他
オートファジーにおける膜動態……………渋谷 周作・他
オートファジーと小胞輸送におけるスフィンゴ脂質の役割……………木原 章雄
オートファゴソーム形成におけるホスファチジル 3-キナーゼの役割……………小原 圭介
オートファゴソーム形成に必要な Atg12-5/16L1 複合体とその役割……………伊藤 敬・他
選択的オートファジーによるポリユビキチン化タンパク質の処理機構……………松本 弦・他
オートファゴソーム成熟にかかわる膜輸送メカニズム……………伊藤 敬・他
アクチン結合性タンパク質 Coronin-1a による結核菌ファゴソームへのオートファゴソーム形成の阻害機構……………瀬戸 真太郎・他
損傷ミトコンドリアの処理機構—Parkin 依存性マイトファジー……………田中 敦

リソソームタンパク質のミトコンドリア 内集積による損傷ミトコンドリアの修 復……………荒 川 博 文	細胞表面タンパク質のユビキチン化-リ ソソーム分解経路……………水 野 忠 快・他
オートファジーによるペルオキシソーム の選択的分解と生理機能……………奥 公 秀・他	8. 膜小胞と封入体
膵腺房細(膵外分泌細胞)におけるオート ファジーの役割と制御機構……………大村谷昌樹・他	膜小胞輸送にかかわるタンパク質因子
神経性セロイドポフスチン蓄積症におけ る”異常なリソソーム”のオートファ ジーによる処理……………小 池 正 人・他	AAAATPase・SKD1/Vps4……………奈 良 篤 樹
7. リソソーム	Multivesicular Body の形成と複合体
リソソームの成熟と p18-mTORC1 経路 ……………高 橋 祐 介・他	ESCRT の役割……………森 田 英 嗣
オートファジーによるインスリン抵抗性 状態の脂肪組織での炎症の抑制……………吉 崎 健・他	過剰な p62 と封入体形成……………蔭 山 俊・他
トランスフェリン受容体の恒常的分解を 制御する低分子量 GTPaseRab12……………松 井 貴 英・他	ユビキチン陽性封入体と TDP-43……………野 中 隆・他
	正常海馬に見られる microscopic globu- lar body……………小田桐紗織・他
	レビー小体型認知症におけるテロメア長 の短縮……………岩 本 俊 彦・他
	封入体筋炎における核遺残物を含んだ空 砲……………中 野 智・他

●財団だより●

第 20 回「総合リハビリテーション賞」受賞論文決定

第 20 回「総合リハビリテーション賞」受賞論文として下記論文が決定致しました。授賞式は 9 月 26 日(水)、
(株)医学書院において行われます。外山慶一氏には賞金と賞・記念品および共同執筆者に賞状が贈られます。

受賞論文：神経筋電気刺激療法 (neuromuscular electrical stimulation ; NMES) による嚥下機能改善へ向け
た舌骨と喉頭運動の検討

著 者：外山慶一，倉澤美穂，野間知一

(鹿児島大学病院霧島リハビリテーションセンター)

松元秀次，下堂蘭恵，川平和美

(同大学院医歯学総合研究科運動機能修復学講座リハビリテーション医学)

掲 載 号：「総合リハビリテーション」39 巻 10 号 977-985 頁(2011 年 10 月号)

「総合リハビリテーション賞」について

前年の 1 月～12 月までに「総合リハビリテーション」誌(医学書院発行)に掲載された全論文を対象に同誌編集
委員会にて審査し，リハビリテーション全領域での最優秀論文一編を選び本賞を贈るものです。

主催 公益財団法人 金原一郎記念医学医療振興財団

後援「総合リハビリテーション」編集室

公益財団法人 金原一郎記念医学医療振興財団

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-28-24 IS 弓町ビル 7 階

TEL 03-3815-7801 FAX 03-5800-2722